

高砂市議就任予定 緑の党グリーンズジャパン会員



井奥まさきの市政ニュース

[自宅] 兵庫県高砂市荒井町新浜 2-19-9
 Tel 079-444-2343 Fax 444-2418
 E-mail: ioku3@gmail.com
 http://ioku3.sakura.ne.jp 新ブログも
 ツイッター: @ioku3 Facebook・LINE: 井奥雅樹

「井奥まさき」
でweb検索を

2014. 9 (月刊+ : 9月上旬号 通算 94号)

市議選結果 緑の党へのご支援に感謝いたします

順位	候補者名	期数	年齢	得票数	前回との得票差
1	しまづはるか	1	26	2658	-
2	川端ひろあき	2	56	2541	△ 409
3	砂川たつよし	4	62	2341	△ 102
4	森ひでき	2	50	2330	△ 119
5	さこがわ高行	2	46	2139	△ 150
6	今竹大祐	8	63	2080	△ 114
7	ふくもと昇	4	58	2023	+179
8	たかお治久	2	49	1987	△ 246
9	入江正人	5	62	1723	△ 32
10	木谷かつろう	3	65	1682	△ 254
11	北野誠一郎	6	53	1619	△ 410
12	いくしま洋一	10	71	1615	221
13	池本晃	10	69	1615	△ 112
14	横山義夫	5	54	1559	△ 325
15	北畑徹也	4	63	1458	+40
16	ふじもり誠	3	63	1392	△ 177
17	大塚よしこ	3	59	1362	△ 178
18	鈴木としのぶ	4	54	1349	△ 82
19	井奥まさき	4	49	1225	△ 874
20	いしぎき徹	1	53	1204	-
21	さかべ勝彦	1	56	1199	-
22	中西かずとも	現1・落	38	1068	△ 46
23	あおき勝博	新人・落	64	814	+129
24	山本りゅうすけ	新人・落	69	786	△ 293
25	山田てつや	新人・落	38	774	-

緑の党 井奥まさき

緑の党へのご支援を感謝します。井奥まさきは緑の党公認候補として選挙戦に取り組みました。政策的スローガンとしては「居眠り自治体高砂市を先進自治体へ」を掲げ3つの政策を提言しました。事前の政治活動に取り組む中で市民から批判が強かった「最大会派解体・世代交代」を訴え、選挙公報にも掲載しました。

残念ながら得票は減らしたものの、最大会派の勢力数は変わらなさそうです。(逆に私が大幅に票を減らすことになってしまいました。でも政治は浮き沈みのあるもの。まずは4年間の機会をあたえていただいたということで、引き続き力いっぱい議員活動に取り組みます。

(個人的な選挙活動への謝辞は公職選挙法にて禁じられています。ご理解をお願いします。なお、ネットではあいさつ行為は解禁されていますのでよろしければHPをご覧ください。)

■ 荒井町御旅の臨時事務所は九月十二日(土)をもって閉鎖します。ご協力ありがとうございました。

子育て日記 選挙はイベント?えらく楽しんでいましたね

風船つりとかしないの?

今回の市議選を一番満喫していたのは息子でしょう。まず臨時事務所開設イベントの打ち合せをしている時。「ねえ、イベントするんでしょう。風船つりとかするの?」と言って笑わせてくれました。イベントの前日には、受付の飾り付けや「1円玉落とし」コーナーを娘と作るなど楽しんで準備をしていました。

いろんな人が来るね

8月31日が近づくと各地から毎日いろいろな人がやってきます。子ども好きな人も多く、息子のわけのわからない会話や遊びを一緒につきあってくれるので大満足だったようです。「すごいね、いろんな人が来るね」というので、「8月31日からはもっと大勢来るよ」というと「9月はずっと事務所にいるね」というので、「9

月からは学校だろう、宿題をさせておいてくれよ」とのんびりした会話をしていました。

さて、どんな大人になるやら

私が子どもの頃には選挙事務所なんて行ったこともありませんでした。私の事務所は支持者や応援者も子ども連れでにぎわっていました。息子や娘も含め、どんな大人になるんでしょうか。その時は政治がもっと身近だといいね。

子育て政策 選挙後の市議選で子育て政策の議論

選挙公報が配られつつあります。「子育て充実」を訴える候補者が多いのはうれしいことです。選挙公報の数だけの熱心な議員がいればきっと高砂市の子育て政策は前進するでしょう。

ニュースで取り上げ、特集号でも書いているように2015年から子ども政策が大改革されます。

<http://ioku3.sakura.ne.jp/news.html>

高砂市は伝統的に子育て充実政策をしてきました。待機児童ゼロがその象徴です。ただ、少し「形だけ」のところもあります。例えば

保育所や学童保育所の迎える時間が6時までと短い、3歳未満の子どもを預けるのは希望どおりにはいかない…などです。

私はポスターを見ていただいてもおわかりのように小四と小二の子どもがいます。子育て真っ最中です。ニュースでも「子育て日記」というのを連載し、「そこだけ読む」という人もいます。特に息子を中心にした面白すぎる子どもたちの奮闘記を書いています。

保育所、幼稚園、学童、無料の子ども医療費…と多くの市役所サービスを使ってきました。ありがた

いことですが、一方で「こうした方がいいのに」ということもたくさんあります。親の会で知り合ったお母さん、お父さんからたくさん不満や改善案を聞きました。典型的なのは中学校給食です。

幸いにもというか、偶然にというか、国の基準づくりが遅れてこの2015年度の大改正についてはこの選挙で勝ち上がって議員で議論することになります。多分7日当選したら15日からの週から議会あるいは議会準備が始まります。ぜひさまざまな提言をしていきたいと思っています。

争点 市議選争点への私の考え

・議員の資質

発言こそ命、税金の使い方に敏感、市長との緊張関係が必要と思えます。

高砂市の最大会派は数の力の議会運営など問題が多いと考え、「最大会派解体」を訴えています。

・2市2町のゴミ焼却施設

決定過程の不透明さなど手続きに

問題があることは認めますが、総論と手続きはわけるべきと考えます。

また現在の高砂市のゴミ施設がトラブル続きの炉であることを議論の前提にすべきです。

特に「600億円」という数字だけ一人歩きするのは問題です。2市2町バラバラだと余計にコスト

がかかります。600億円で済むはずがありません。そうした冷静な議論が必要です。

・治水対策/浸水対策

水害に対応することは大切なことですが、ポンプ場建設ありきになっているのは問題です。

もっと多様な対策があります。総合的な治水策が必要です。

治水対策 治水対策への私の考え

高砂市の治水計画資料を読み込みました。

(1) そもそも市民参加など手続きを踏んだ計画にもなっていない。

(2) ポンプ場など特定の治水手法に偏っている

(3) 「総合治水」という形で議論されている新しい手法に対応していない。

という欠陥があり、安全を名目にした新たな建設事業手法の疑いが出てきます。

「ダム見直し議論」の際の資料が

見つかりましたので、リンクを貼っておきます。

○金出地(かなじ)ダム検討委員会の第四回資料より P13~17相当

ここにあげられている25の手法を総合的に高砂市はきちんと検討すべきです。

●河川を中心とした対策(11方策:ダム除く)

A 既設ダムの有効活用 B 遊水地(調節池)等 C 放水路(捷水路) D 河道の掘削 E 引堤

F 堤防のかさ上げ G 河道内の樹木の伐

採 H 決壊しない堤防 I 決壊しづらい堤防 J 高規格堤防

K 排水機場

●流域を中心とした対策(14方策)

L 雨水貯留施設 M 雨水浸透施設 N 遊水機能を有する土地の保全 O 部分的に低い堤防の存置

P 霞堤の存置 Q 輪中堤 R 二線堤 S 樹林帯等 T 宅地のかさ上げ・ピロティ建築等 U 土地利用規制

V 水田等の保全 W 森林の保全 X 洪水の予測・情報の提供等 Y 水害保険等